

ふりがな 氏名	かわい まさき	都道府県	愛知県	
	河合 将樹			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・名城大学 / 日本模擬国連 渉外・事業担当 ・学生協力員（ピアサポート団体） 			
私のESD活動	世界規模で思考し、「自分の人生」を生きる人を増やすキャリア教育の提供			
関心・活動のSDGs	   			

活動の概要

まず初めに、より良い未来をつくる為に必要なことは、「人づくり」だと私は考えています。なぜなら、人という社会資本は「モノ・カネ・情報」の全てに影響を与え、人類を進歩させる存在だからです。これからの未来は、VUCA 時代と呼ばれているように過去に例をない世界を生きることが予想されています。これらの時代背景を踏まえた上で、私は人材育成を目的としたキャリア教育を実施しています。具体的には、世界規模で思考する人間を育成するための「模擬国連」、自分の「好き」を見つけ「自分の人生」を歩む人間を育成する為の「キャリア教育」の 2 つを行っています。海外と比較し、日本の多くの教育機関では国際問題をダイナミズムに理解できる模擬国連を実施していません。しかし、グローバル化の波によって英語で国際問題を議論する場面は益々求められる事が予想されます。その為、私は全国の高校や大学で模擬国連の出張授業を通年実施しています。また昨年より、オックスフォード大学の学生と日本初となる世界標準の模擬国連を高校生に提供する「模擬国連サマーキャンプ」も実施しています。自国以外の立場からも国際問題に関心を寄せ、「英語で」議論する能力の育成も同時に行っていることから、弊団体は 2016 年度外務大臣表彰を受賞しました。また認知行動学に基づいたキャリア教育も実施しており、この 2 つを掛け合わせて 21 世紀で活躍する内容を含んだ教育プログラムを提供しています。

- ・「Oxford 大生と九大生のコラボにより模擬国連キャンプ開催」 <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1240>
- ・「RISING MEIJO まだ見たことない『自分』に、出会おう。」 https://www.meijo-u.ac.jp/news/detail_18180.html

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

今回の多様で深い繋がりから、自分の活動の更なる発展と社会人になってからも「教育」に関わっていく仲間をつくり、日本の発展に寄与していきたいと考えている。本イベント参加後も「ESD 日本ユース」として活動を継続していきたいという意欲があることは言うまでもなく、社会人になってからもここで出会った仲間と新たな活動を起こしていきたいと考えています。自分の活動の具体的な発展としては、模擬国連という教育ツールの更なる発展や掛け合わせを行える仲間を見つけ、実際に実施したいと思っています。世代や分野を超えた方々が一堂に会することで、新たな発見があると思っています。また、名古屋で「教育コンファレンス」も開催したいと思っています。今年度で平成という元号が終了し、日本は次の時代に突入します。その前に、平成を教育の観点から振り返り、未来を考える機会が私は必要だと思っています。本イベントでは、全国から「教育」分野で意欲的に活動されている社会人、学生が多数集まることでしょう。その為、教育機関の方々だけでなく様々なセクターの人々と教育的な観点から「過去」を振り返り、「未来」を考えるコンファレンスを開催したいと思っています。